

あしがき

スポーツパフォーマンス研究センター 副センター長

スポーツ・武道実践科学系 教授

高橋 仁大



スポーツパフォーマンス研究センターの報告書をようやくまとめることができました。ご尽力いただきました関係各所に感謝申し上げます。

鹿屋体育大学にとってスポーツパフォーマンス研究の推進は、中期計画でも言及されていることから大学の使命であるといえます。研究としての実績を残すことはもちろん、現場の競技力向上に寄与することをその目的として謳っています。競技力向上に関する直接の実績は、その競技成績であると言えますが、こればかりは一筋縄でいくものではありません。一方で競技力向上に「寄与した」実績としては、そのエビデンスを残すということで貢献できるものです。

スポーツパフォーマンス研究センターがその名の通り、「スポーツ」の「パフォーマンス」を「研究」し、そのエビデンスを着実に残していくことを今後も期待します。もちろん私自身も本センターの一員として、競技力向上の現場で得られたエビデンスをまとめ、そのエビデンスを基にしたコーチングを実践するという好循環のサイクルを、これからも展開していこうと思っています。